



## 平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月14日

上場会社名 大黒天物産株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2791 URL <http://www.e-dkt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 川田 知博 TEL 086-435-1100  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第2四半期の連結業績（平成26年6月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	65,186	7.3	2,418	15.2	2,439	15.6	1,344	26.6
26年5月期第2四半期	60,746	8.8	2,100	7.1	2,111	7.2	1,062	8.4

(注) 包括利益 27年5月期第2四半期 1,355百万円 (26.9%) 26年5月期第2四半期 1,068百万円 (8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	95.86	95.85
26年5月期第2四半期	75.76	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第2四半期	39,067	22,731	58.0
26年5月期	38,914	21,650	55.5

(参考) 自己資本 27年5月期第2四半期 22,673百万円 26年5月期 21,605百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年5月期	—	0.00	—	—	—
27年5月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年5月期の連結業績予想（平成26年6月1日～平成27年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,000	3.4	5,210	3.9	5,225	3.2	2,612	3.5	186.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年5月期2Q	14,413,200株	26年5月期	14,413,200株
② 期末自己株式数	27年5月期2Q	389,247株	26年5月期	389,153株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年5月期2Q	14,023,999株	26年5月期2Q	14,017,271株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。尚、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の大規模な経済政策や金融緩和政策により企業業績の回復や設備投資の増加など、景気は緩やかな回復基調で推移し、明るい兆しが見られました。一方で、世界各地における政情不安や中国をはじめとする新興国経済の景気減速、国内における消費税増税後の消費の落ち込みなど景気の先行きは、不透明な状況となっております。

小売業界におきましては、円安による原材料価格の値上げや電気料金の値上げ、慢性的な人材不足、さらに業種・業態を超えた価格競争の激化により厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループでは食の安心・安全を確保するための品質・鮮度管理の徹底や、商品の販売価格が地域で最も安値であることを保証する『価格保証宣言』を唱えた「安さ」の追求に取り組んでまいりました。また、新規出店として7月にディオ松江南店（島根県松江市）及びラ・ムー久留米西店（福岡県久留米市）、10月にラ・ムー大垣店（岐阜県大垣市）及びディオ呉清水店（広島県呉市）を出店いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は651億8千6百万円（前年同期比7.3%増）、経常利益は24億3千9百万円（前年同期比15.6%増）、四半期純利益は13億4千4百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、147億円となり、前連結会計年度末に比べ11億5千万円減少いたしました。その主たる変動要因は、商品及び製品の増加（34億6千6百万円から36億6千3百万円へ1億9千6百万円増加）及びその他の流動資産の増加（25億9千万円から27億1千8百万円へ1億2千8百万円増加）に対して、現金及び預金の減少（96億8千9百万円から82億1千6百万円へ14億7千2百万円減少）によるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、243億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億3百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、無形固定資産の減少（4億7千7百万円から4億2千1百万円へ5千5百万円減少）に対して、有形固定資産の増加（166億8千5百万円から177億5千2百万円へ10億6千6百万円増加）と投資その他の資産の増加（59億円から61億9千3百万円へ2億9千2百万円増加）によるものであります。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、134億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億3百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、未払法人税等の減少（15億4千万円から10億9千9百万円へ4億4千1百万円減少）と支払手形及び買掛金の減少（82億8千1百万円から81億5千1百万円へ1億3千万円減少）とその他の流動負債の減少（37億6百万円から35億9千6百万円へ1億1千万円減少）によるものであります。

#### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、29億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千4百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、資産除去債務の増加（12億3百万円から12億8千1百万円へ7千7百万円増加）に対し、その他の固定負債の減少（13億2千万円から11億6千6百万円へ1億5千3百万円減少）と長期借入金の減少（5億9千9百万円から4億5千1百万円へ1億4千8百万円減少）によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、227億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億8千1百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、利益剰余金の増加（186億1千2百万円から196億7千6百万円へ10億6千3百万円増加）によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに推移しており、連結、個別ともに平成26年7月9日公表の業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,689	8,216
受取手形及び売掛金	16	34
商品及び製品	3,466	3,663
原材料及び貯蔵品	100	78
その他	2,590	2,718
貸倒引当金	△11	△12
流動資産合計	15,850	14,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,191	11,079
土地	4,169	4,170
その他(純額)	2,323	2,502
有形固定資産合計	16,685	17,752
無形固定資産		
のれん	244	204
その他	232	217
無形固定資産合計	477	421
投資その他の資産		
建設協力金	1,184	1,136
差入保証金	2,477	2,653
その他	2,260	2,426
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	5,900	6,193
固定資産合計	23,063	24,367
資産合計	38,914	39,067

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,281	8,151
短期借入金	299	296
未払法人税等	1,540	1,099
賞与引当金	297	278
その他	3,706	3,596
流動負債合計	14,126	13,422
固定負債		
長期借入金	599	451
退職給付に係る負債	15	15
資産除去債務	1,203	1,281
その他	1,320	1,166
固定負債合計	3,138	2,913
負債合計	17,264	16,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,566	1,566
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	18,612	19,676
自己株式	△312	△312
株主資本合計	21,595	22,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	14
その他の包括利益累計額合計	6	14
新株予約権	3	9
少数株主持分	44	48
純資産合計	21,650	22,731
負債純資産合計	38,914	39,067

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	60,746	65,186
売上原価	46,962	50,121
売上総利益	13,783	15,065
販売費及び一般管理費	11,683	12,646
営業利益	2,100	2,418
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	0	0
受取賃貸料	13	9
その他	16	7
営業外収益合計	42	30
営業外費用		
支払利息	19	9
貸倒引当金繰入額	11	-
その他	0	0
営業外費用合計	31	9
経常利益	2,111	2,439
税金等調整前四半期純利益	2,111	2,439
法人税、住民税及び事業税	1,077	1,055
法人税等調整額	△31	36
法人税等合計	1,045	1,092
少数株主損益調整前四半期純利益	1,066	1,347
少数株主利益	4	3
四半期純利益	1,062	1,344



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,066	1,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	7
その他の包括利益合計	2	7
四半期包括利益	1,068	1,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,064	1,352
少数株主に係る四半期包括利益	4	3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,111	2,439
減価償却費	1,073	1,129
賞与引当金の増減額(△は減少)	22	△19
のれん償却額	40	40
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	0
受取利息及び受取配当金	△13	△13
支払利息	19	9
建設協力金の家賃相殺額	59	59
預り建設協力金の家賃相殺額	△8	△10
売上債権の増減額(△は増加)	△5	△18
たな卸資産の増減額(△は増加)	△330	△174
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△159	△194
仕入債務の増減額(△は減少)	△109	△130
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△136	△118
その他の固定負債の増減額(△は減少)	18	93
その他	10	15
小計	2,609	3,107
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△18	△8
法人税等の支払額	△1,158	△1,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,435	1,611
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△8	△5
定期預金の払戻による収入	260	181
投資有価証券の取得による支出	△7	△5
有形固定資産の取得による支出	△2,025	△2,241
無形固定資産の取得による支出	△47	△12
差入保証金の差入による支出	△135	△178
差入保証金の回収による収入	3	3
建設協力金の支払による支出	△1	—
預り建設協力金の受入による収入	—	38
短期貸付金の回収による収入	10	0
長期貸付けによる支出	—	△5
長期貸付金の回収による収入	1	0
その他	3	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,945	△2,223

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△230	—
長期借入金の返済による支出	△159	△150
リース債務の返済による支出	△282	△252
株式の発行による収入	36	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△252	△280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△887	△683
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,398	△1,295
現金及び現金同等物の期首残高	7,506	9,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,107	8,216

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。